

氷見ロータリークラブ会長就任挨拶

2025—2026年度

氷見ロータリークラブ

会長 積良 岳



この度、氷見ロータリークラブの第57代会長に就任させて頂くことになりました。光栄に存じますとともに、その責任の重大さを感じ身の引き締まる思いがあります。

さて、2024年1月1日に発生した能登半島地震から一年と半年がたとうとしている中、氷見市においては復旧復興が進んできていますが、元の姿に戻るにはまだまだ時間がかかると思います。そんな中でも我々ロータリアンとしては、4つのテストにある「みんなのためになるかどうか」の考えのもと、被災地である氷見市を含めた能登地域の心の復興を第一に考えながら一年間活動していこうと考えています。

2025—2026年度 RI 会長フランチェスコ・アレツツォ氏は、RI テーマを「よいことのために手を取りあおう」UNITE FOR GOOD とし、ロータリーの最大の財産は会員一人ひとりであり、ロータリーのすべて の功績と成長は、究極的に会員にかかっているということです。分断されがちな世界に おいて、ロータリーの明るい未来を創造するために、会員の維持・増強が不可欠である と力強く述べられました。また、2610地区小山英一ガバナーは、地区テーマを「皆で参加しよう みんなで行動しよう」とし、第2610地区全会員の積極的・継続的な参加を促す（みんなで）の基本方針のもと、「だれもが笑顔でいごこちの良いクラブ」を地区の3年間の目標とされました。

会員の減少も当クラブの課題であり、会員増強を積極的に進め、ロータリーの輪を広げていきたいと思っています。また、継続事業である芝桜の植栽や復興支援事業などにも取り組んでまいります。そのために会員の皆様のご指導ご協力が重要でありますので、積極的なご参加をお願い申し上げます。

一年間頑張って活動してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。